

2022年度(令和4年度) 事業報告書

第1号議案

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人

宮城県セーリング連盟

1 事業の状況

2022年度は、4月の総会・理事会をもって長年にわたり会長職を務められた中野正志氏が名誉顧問に就任し、石川光次郎副会長が会長に就任した。また、庄司一夫理事長が副会長となり、尾形依子副理事長へ理事長職をバトンタッチする世代交代を象徴した1年であった。活動の足枷であった新型コロナウイルス感染症は、昨年度と同様に変異株の発生と数度の感染ピークを繰り返したが、感染対策を講じながら大会等の活動を継続した。特に10月には、第77回いちご一會とちき`国体が千葉市稲毛ヨットハーバー`で開催され、レース単位では10位まで食い込む健闘をみせたクラスもあり、最後まで入賞圏内への期待を抱かせる大会であった。

セーリング体験・普及活動は、松島水域でのジュニアスポーツパワーアップ事業を継続し取り組んだところであるが、県連の新体制初動の年かつ閑上ヨットハーバー指定管理者の次期公募の年であることから、昨年度の「海プロ」に代表される日本財団支援の普及事業の受託は見送った。

閑上ヨットハーバーの関連では、令和4年度は東日本大震災からの復旧復興工事の閑上における最終仕上げとしてヨットハーバー構内で防潮堤工事が概ね完了し、令和5年度以降は名取川の導流堤の工事が引き続き継続する。指定管理者としての次期公募は、前回と一変して複数事業体が名乗を上げる状況のなか、県連と太平ビルサービス(株)で構成する管理運営共同事業体は、有力な候補として2次審査まで進んだものの、亘理町を拠点に県内外で実績を有するNPO法人海族DMC(太見代表、県連木村理事所属)の評価点に及ばず、同NPOへ次期を託すこととなった。結果だけを総括すれば不本意ではあったものの、ポジティブに捉えれば、宮城のセーリング界に活力ある新たなプレイヤーの参画が実現したことは、県連組織内の世代交代同様、時代の変化を感じさせる象徴的な出来事であった。

対外的な出来事としては、ほかに、令和5年度に全日本470ヨット選手権大会が閑上を舞台に開催されることが決定し、470協会にも所属する県連倉持副理事長を中心に準備が進められている。現在、同協会との協議を中心に、受入れ県として国体派遣や遠征等で繋がりのある旅行業者との調整やマスコミへの情報提供など下地づくりを行なっている。

その他、引き続きコロナ禍にあつて県連諸活動を維持するべくZoomによるWeb会議の活用やGoogle社のNPO団体支援プログラムを受けての Googleworkspaceの無償による活用など開始した。今後は、mysaf.orgドメインによる同社サービスを基盤とした情報共有や理事ごとの @mysaf.org電子メールアドレスの交付などで情報の共有を進めたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款記載)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	対象及び参加者数	担当部
セーリングスポーツ競技会及び講習会並びにセーリングスポーツ普及のための行事の開催、後援及び援助	JOCジュニアオリンピックカップ兼 JSAFジュニアユースセーリングチャンピオンシップ	4/28～5/2	和歌山	1名	高校生8名	強化部
	ジュニアスポーツパワーアップ事業	5/5,15,22,29 6/26,7/3,17 7/31,8/6,7 9/4,11,10/9	松島	21名	小学生	強化部
	レットヘール杯 第6回宮城Y-23マッチレース	7/10～11	七ヶ浜	2名	12チーム	競技部 外洋部
	県高校総体	6/4～5	閑上	25名	420 11艇 ILCA6 9艇	強化部 競技部
	北日本オープンレース	5/21～22	閑上	15名	大学生31艇	
	東北インターハイ予選会	6/17～19	秋田 男鹿	30名	420 21艇 ILCA6 13艇	強化部 普及部
	東北ジュニアヨット大会	9/24～25	山形 徳良湖	8名	レーザー-4.7 2艇 OP 2艇	
	とちき国体直前練習会	9/28～29	千葉 稲毛	3名	7名	強化部
	東北学生ヨット選手権個選・ 全日本470級選手権予選・ 全日本スナイプ級選手権予選	6/25～26	閑上	25名	大学生34艇	競技部
	東北学生ヨット選手権大会	8/13～14	閑上	25名	大学生18艇	
	県高校新人戦ヨット競技会	10/22～23	閑上	25名	420 15艇 ILCA6 11艇	競技部 強化部
	北海道東北420級選手権大会 兼 普及レース	11/5～6	松島	12名	420 20艇 ILCA6 8艇	
	宮城県民体育大会	10/16	閑上	14名	47艇・78名	競技部
	B級ジャッジ取得講習会	11/19	閑上	1名	2名	
全日本420選手権大会	12/23～28	三重津	1名	高校生2名	強化部	
セーリングスポーツの本県代表選手及び役員を選考並びに派遣	国体選手選考レガッタ 理事会(選手選考会議)	7/23～24	閑上	5種目 19艇	—	総務部 競技部 強化部
セーリングスポーツ活動を通じた海事思想の普及、宣伝及び啓発	Facebookでの広報	通年	—	5名	—	総務部
	ホームページでの広報	通年	—	5名	—	
セーリングスポーツ普及のための諸施設の整備及び維持	閑上ヨットハーバー運営管理	通年	閑上	8名	9団体66艇 個人8名9艇 救助艇12艇	ハーバー 管理 委員会
	ハーバー管理委員会	12回	閑上	8名	—	
	470級計測(東北インカレ)	8/11	閑上	1名	9艇	競技部
	470級計測(全日本インカレ)	10/22	閑上	1名	3艇	
その他目的達成に必要な事項	会計監査	4/17	閑上	6名	—	総務部
	理事会・総会	5/8 5/15	閑上 Zoom	15名	—	
	拡大部長会議等 ・閑上ハーバー指定管理 ・全日本470実行委員会	5/19,6/2,6,21 8/6,9/3,9 10/14,2/5,19	閑上 Zoom	のべ 85名	—	
	東北セーリング連盟総会	3/5	閑上 Zoom	5名	—	